

「（仮称）子ども未来館」整備の進捗について

公立保育幼稚園課

1. 政策等の背景・目的及び効果

未就学児（0歳から6歳まで）を対象とした屋内型の遊び場とともに、子育て家庭が悩みを相談できる場として、枚方市公設市場サンパーク1階跡地を活用し、令和9年6月完成を目指して「（仮称）子ども未来館」を整備することを、令和7年2月の教育子育て委員協議会において報告したところです。

その後、5月に実施設計に着手するとともに、施設内の動線、遊具等の配置などについて、子どもの安全性や保護者の安心感を高める観点から、民間事業者や児童福祉施設関係者等から意見聴取しながら検討を進めてきましたので、この度、その内容を踏まえた施設レイアウトの主な考え方や施設イメージ案等について報告するものです。

2. 内容

(1) レイアウトの主な考え方

- ・小さな子どもが安心して遊べるよう、幼児エリア（動的）、乳児エリア（静的）を区分するとともに、遊び場と土足エリアを明確に区分する扉を設置するなど、利用者の安全を確保する
- ・相談室を設けるほか、遊び場内にソファ等を設置するなど、保護者が気軽に相談できる配置とする
- ・イベント等にも利用できる多目的な広いスペースを確保するため、移動可能な遊具などを配置する
- ・インクルーシブ遊具や木製遊具など、支援が必要な子どもや医療的ケア児も楽しく過ごすことができる遊び場とする
- ・利用者が落ち着いて飲食や休憩ができ、地元の方も気軽に立ち寄れるスペースを配置する
- ・親と子が一緒に遊ぶことを基本に、隣接する公園を活用しながら親子がしっかりと関わることをできる遊び場とする

(2) 配置案

別紙「参考資料1」のとおり

3. 実施時期等（予定）

令和7年度（2025年度）	実施設計
9月頃	利用者等に対するリクエスト調査
令和8年度（2026年度）	改修工事
令和9年（2027年）6月頃	完 成

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画

施策目標6 地域における子育ての相談・支援

SDGsとの関連



5. 関係法令・条例等

子ども・子育て支援法、児童福祉法

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》

実施設計に係る委託料：14,100千円（令和7年度当初予算）

《財源内訳》

地方債：12,600千円

一般財源：1,500千円

（参考）

《工事請負費、備品購入費》

245,000千円

《財源内訳》

地方債：180,000千円

一般財源：65,000千円

(仮称) 子ども未来館 施設イメージ案

※現時点で検討中のイメージのため、今後、変更になる場合があります。

